

A LOCAL NEWSPAPER IS STARTING!

地域の新聞 はじまります

はじめまして、白樺新聞です！
地元出身者と移住者が手を取り合って
この地域のできごとや魅力を発信していきます。

ゼロ・
カーボン

山や高原
のこと

たのしい
遊び

われらの
番所弁

私
の
い
き
ぬ
き



昨年1年間乗鞍に住んでいた県外のお友達と再会！
3人とも春から中学生です。

地域の人
インタビュー

みみずの
コンポスト

カタカナ語
辞典

トモノメカ

白樺新聞は地域の皆様からの
情報や記事、写真、イラスト、
リクエストもお待ちしており
ます。裏面に連絡先がござい
ますのでどしどしお寄せくだ
さいませ。

まず、私たちが楽しむ

ヨノナカに目を向けると「あ、やんなっ
ちゃうなあ」なんてことも多い昨今ではあ
りますが、とはいえ山の暮らしのあれやこ
れや、実は「しあわせだなア」って思える
こともたくさんありますよネ。

素敵な情報を交換し合って、まずここに
住む私たちが毎日を楽しんでいきたいな
と、新聞を作ってみることにしました。

おおきな声よりちいさな声を、暗い不安
より明るい希望を。知りたいことは追いか
けて、困ったことには知恵を集める、そん
な新聞でありたいと考えます。

お仲間も募集しております。
ぜひ、ごいっしょに。

白樺新聞社

まりチャンがゆく

移住者まりのトツゲインタビュー



大野川区長
木村希喜さん



地区の皆様はじめまして！

一年前に愛知から乗鞍に移住してきましたまぎのまりと申します。ゲストハウス雷鳥と観光センターのカフェGIFT NORKURAで働いています。

まだ知らないことがたくさんあるので地域のさまざまなお会いして、いろいろと教えていただきたいと思っています。

第一回は大野川区長を務めて3年になる木村希喜さんにお話を伺いました。木村さんは昭和46年、満員電車での会社勤めに疑問を感じ、千葉から信州の山小屋へいらしたそうです。大野川区に古くから続く自治の歴史、そしてこれからのことを伺いました。

守り続けたい大野川の土地

大野川区は、約870町歩の土地を所有しています。大野川区は、明治7年大野田・島々・稲核・大野川村の入四か村が合併し安曇村となつた合併前の大野川村が原点です。戦前までは、国の町村制68条により行政の一部でもありました。国は明治から昭和の戦後にかけて、部落有財産を行政財産に統一するよう安曇村部落有財産統一協定を施行してきました。

大野川区では牧場経営や炭焼き等を生業としていたこともあり、大野川の先人たちは国に抗って卓越した知恵と、膨大な時間と労力を駆使して現在ある大野川区有地を守ってきました。平成のスキー場債務保証問題の時も大野川区民は区有地を守ってきました。大野川地域の自然の恵みや財産を区民全員で守り、全員で平等に恩恵を受けることができよう大野川区が指導してきました。まさにイギリスが発祥と言われる大野川区は、財産の固定資産税として毎年約150万円の支払いをしてい

ますが、この先人が残した財産は子や孫に残していかなければならないと思います。他の地域からの移住者の方も地域の事情を理解して、先人の意思をつないできている地元の方に敬意を払いながらしっかりとコミュニケーションをとっていただけたらと思います。

1学年8人を目指そう

学校も昭和初期は安曇村と区がいっしょになって運営していました。学有林から木を切って修繕をするなど地元が学校を支えてきたので、今も深いつながりがあります。

私の子どもが通っていた昭和60年代は1学年20人いましたが今は小中合わせて29人。このままだと学校がなくなってしまうので、せめて1学年8人を目指したい。

同時にお年寄りの暮らしを支えることも重要です。移住促進も、ミライズも、ここでの暮らしを続けるためには大野川区がやらなくちゃいけない。使命だと思っています。

【2月24日大野川区事務所にて取材】

インタビューを終えて

「乗鞍岳は穂高などとちがって、なだらかでのほんとした雰囲気がいいよね」とにっこりする木村さん。終始

地域へのまっすぐな愛を感じました。驚いたのは区長自ら高校生を市街地まで車で送迎していることです。私もここが好きになった一人。子どもたちの居場所も、この素晴らしい景観も、自分たちの手で守っていなければならないと感じました。



わがらの心 音

ほあるか(あ)い!!

や〜、あ!!

ポイント

あ!!の音の高低差

長と低

か大まかか大まかほど

感情がこもっている。

その①

久しぶりだね

冬の伝言板

1年間ありがとうございました。素敵な本にたくさん出会えました。(六月堂) 冬へのメニューは三月中まで。お早めどうぞ！(レストラン) Mちゃんへ 来年もスキーやろう(Rより) 3/31お誕生日おめでとうFちゃん！(木のこたちより) フファ・・・もうすぐ起きますよ。(熊)



自然保護レンジャーと一緒に 外来種を駆除しよう!

5月の終わり~7月初旬、どなたでも参加できる 外来種駆除作業を実施する予定です。(週一回くらいを予定。詳細は次号で!) 【場所】 観光センター周辺、ゲレンデ内、 檜の木や宮の原など、地区ごとにも。



その矢先、村では伝染病が流行り大騒ぎとなりました。「きつとミミズの祟りに違いない」とお堂を建て、ミミズの霊をお祀りしました。「ミミズのいる畑を作れ」「ミミズは畑の神様だ」とお百姓さん達はそのあとミミズを大切にしました。この神社は今も「蚯蚓(きゅういん)神社」として大切にされています。

昔々、みーちゃんもみずくんも生まれる ずーっとずっと前のこと。 何日も続く大雨の時、山奥にある「北沢山」から大水が出ました。するとそこに住む長さ一尺ほどの大ミミズが群れをなして死んでしまいました。



お話 みみずのみずちゃん & みずくん

第一話 ミミズ神社(長野県長和町)のお話



やれ脱炭素、やれゼロカーボンで言うけれど、昔ながらの暮らしは結構エコだったのよね。寒い時、電気・灯油に頼りすぎずに、ほらこうして自家発電♡

編集部員紹介

第1号を作成したメンバーです。①名前②乗鞍歴③干支④メッセージ



山のペンギン 15年+8年 /寅

ヤムヤムツリーの人。趣味は車と音楽。乗鞍BASEで星空と乗鞍岳を見るのが好き。



あの 長いです/申

自然散策が好き。乗鞍の良い所や魅力を沢山発信していきたいです。



高橋あず美 15年+2 拠点生活5年/寅

乗鞍の外でお仕事、乗鞍の中で休日の生活が最高です。乗鞍と音楽のコラボをやりたい!



まゆみ 生まれてからほぼずっと乗鞍/申

ここで暮らし子育てできることが幸せ。この環境を引き継いでいきたい!



あゆみ 1年/卯

乗鞍に来て人生観が変わりました。自分も自然界の多様な生物・植物のひとつなのだ実感。



としえ 15年+2 拠点生活5年/丑

クロスをやっていたので冬が大好き。乗鞍に帰って来られるようになった事がとても嬉しいです。



まきのまり 1年/亥

優しい懐の深〜い乗鞍が大好き!愛知出身、子ども達と遊ぶのが大好きな元保育士です。



はらはてな 3年/辰

曾祖母の代から乗鞍で宿をやっています。都会で生活した時乗鞍の魅力を再認識。紙や新聞大好き!

ちよっと謎といいていしましよ

No. 1



「ちよっと謎といいていしましよ」コーナーとは。

地域に関することを色々なクイズにして、みなさんに楽しんでもらおう!というコーナーです。

乗鞍高原の雪解けと共に咲く水芭蕉は、乗鞍に春をお知らせ

してくれる可憐なお花です。そんな水芭蕉のクイズです!

水芭蕉

ミズバシヨウ

氷河期からの
残存植物?!



※答えは↓↓に

乗鞍内での群生地↓↓

- ・宮の原水芭蕉群生地
- ・徳ぶの池
- ・どじょう池
- ・女小屋の森
- ・オソメジツケ
- ・牛留池

① 花言葉は?

- A 美しい思い出
 - B 自然への愛
 - C 白い追憶
- ② 何科でしょう?
- A ハス科
 - B サトイモ科
 - C バシヨウ科

春の散策は楽しいけれど、熊よけの鈴を持ってお出かけしてね!

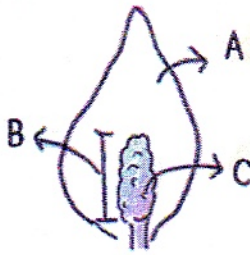
④ お花の部分はどこでしょう?

- A 3月上旬〜3月下旬
- B 4月下旬〜5月中旬
- C 6月下旬〜7月中旬

③ 乗鞍の水芭蕉はいつが見頃?

⑤ クマはなぜ人間には有毒な水芭蕉を食べるのでしょう?

- A すぐく美味しいから
- B 腸内環境を整える為
- C 栄養価が高いから



◆ 白樺新聞は、地域のつながり作りと未来の子どもたちへ自然の恵みを引き継ぐことを目的に制作しています。◆ 季節に一度、自然の状況に合わせて気ままに発行いたします。◆ 地域の皆様には回覧板で回します。◆ 地域に広めたい情報をお持ちの方はぜひお寄せください。

◆ もしよろしければ以下の方法で応援をお願いいたします。

◆ (1) 紙面「愛の伝言板」で協賛! 一口500円で10文字程度のメッセージを掲載させていただきます。だれかさんへのメッセージはもちろん広告にもご利用ください。

◆ (2) 寄付金で応援する(問合せ:お電話かインスタグラムどうぞ)

白樺新聞を置いてくださっている所

cafe irodori・カフェやいや・プチホテル

アルム・ヤムヤムツリー・ゲストハウス雷鳥・ペンショングリンデルワールド・GIFT NORIKURA

Gelato&Cafe・六月堂・ペンションマドンナ・ペンションアルプホルン・青葉荘・ペンションポ

エティカル・大野川小中学校・ふれあいパーク乗鞍・湯けむり館・大野川区事務所・安曇公民館

♥ありがとうございます!!!♥

※ ① A ② B ③ B ④ B ⑤ C

白樺新聞 第一号(不定期発行)

発行日 二〇二三年(令和五年)三月二十一日

発行所 白樺新聞社

電話 〇九〇一九八一四一七四五九



@SHIRAKABASHINBUN